市の花・木・鳥の候補

次の候補の中からふさわしいと考えるものを、それぞれ１つだけ選んで、番号及び選定理由を応募はがきに記入してください。

市の花

①なのはな

なたね油を採るアブラナ科の植物の総称。カラシナとセイヨウアブラナをいう場合が多い。春に小貝川の堤防を黄色一色に染める。

②きく

観賞用に栽培されるキク科の植物。梅、竹、蘭とともに四君子のひとつ。品種は非常に多くその美しさは、人々の心を魅了する。

③しろばなたんぽぽ

日あたりのよい水田の土手に咲くたんぽぽの一種。近年は減少傾向にあるが、みらい平駅周辺の土手などに比較的多く見られる。

④すみれ

日あたりのよい河川の堤防沿いに生えるスミレ科の植物。左右対称で花弁は5枚の美しい花で、春を告げる野草の代表です。

⑤ゆり

本州中部以北の山野に分布している多年草。古くから親しまれ、強烈な香りを放ち、その圧倒的な存在感で驚かされる。

市の木

①けやき

すんなりとのびた幹から扇を開いた樹形になるニレ科の植物。屋敷林の代表的な存在。

②さくら

ヤマザクラ、ソメイヨシノなどの総称。春に白色や淡紅色から濃紅色の花を咲かせ街路樹、公園などに植えられている。

③こぶし

春先に香りのよい白い花をつけ、秋には赤い種子をにぎりこぶし状につけるモクレン科の植物。公園などに植えられている。

④しいのき

スダジイともいう。ブナ科の植物。防風、防火樹などとして庭に植えられ、大地の斜面に林をつくる。

⑤かしのき

シラカシ、アカガシなどがあり、どんぐりをつくるブナ科の植物。屋敷の防風林によく植えられている。

市の鳥

①ひばり

本州、四国、九州の草原・河原・畑などにすむ留鳥。北海道では夏鳥。草原など開けた環境にすむスズメより大きな茶色の鳥。驚くと頭の冠羽が目立つ。春には空高くさえずる。

②はと

日本全国で繁殖する留鳥。おもに草の種子や木の実を食べる。つがいは一年中いっしょに行動する。背中が赤茶色で黒のうろこ模様。「デデッポーポー」と鳴き、市街地でもよく見られる。

③めじろ

身近に見られる可愛らしい小鳥。茨城百景に選定されている「福岡堰と桜並木」に一番に似つかわしく桜の花に集まる。庭先の花木などにも集まるので市民には親しみやすい。

④かわせみ

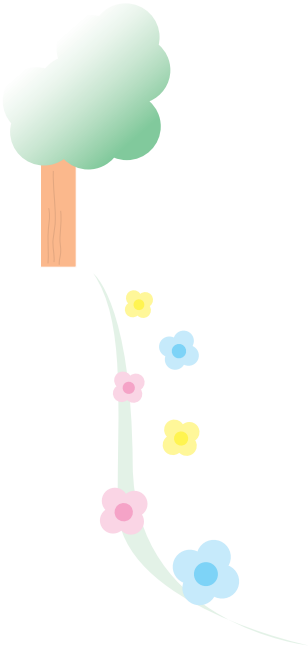
色彩豊かな人気者。清流でしか見られないと思われがちなカワセミですが、福岡堰などの河原で見かけることができます。大変美しく、野鳥愛好家の間では１番の人気者です。

⑤きじ

固有種（日本にしかいない）で、日本の国鳥。姿態優美、羽色鮮やかで、多くの人がイメージしやすいと思います。人里近くに生息し、川原、雑木林等でよく見られる。

（写真協力：ミュージアムパーク茨城県自然博物館）

キリトリ線



「市の花」、「市の木」、「市の鳥」応募はがき

あなたがふさわしいと思う「つくばみらい市」の「市の花」、「市の木」、「市の鳥」及び選定の理由を簡潔に記入してください。

花	木	鳥
番号	番号	番号
理由（簡潔に）	理由（簡潔に）	理由（簡潔に）